

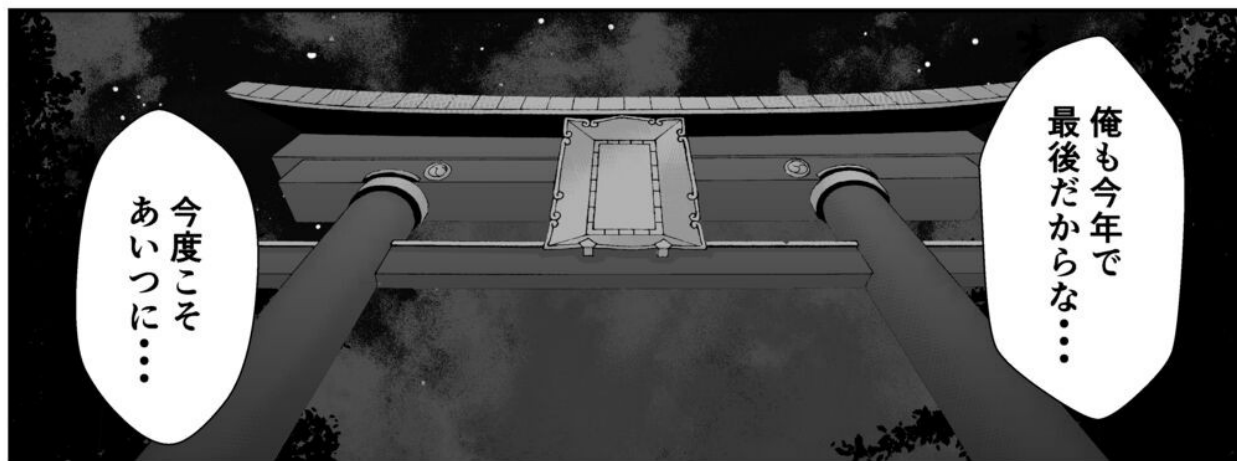
最後 の 祭 囃 子

DOJIN
R18
成人向け

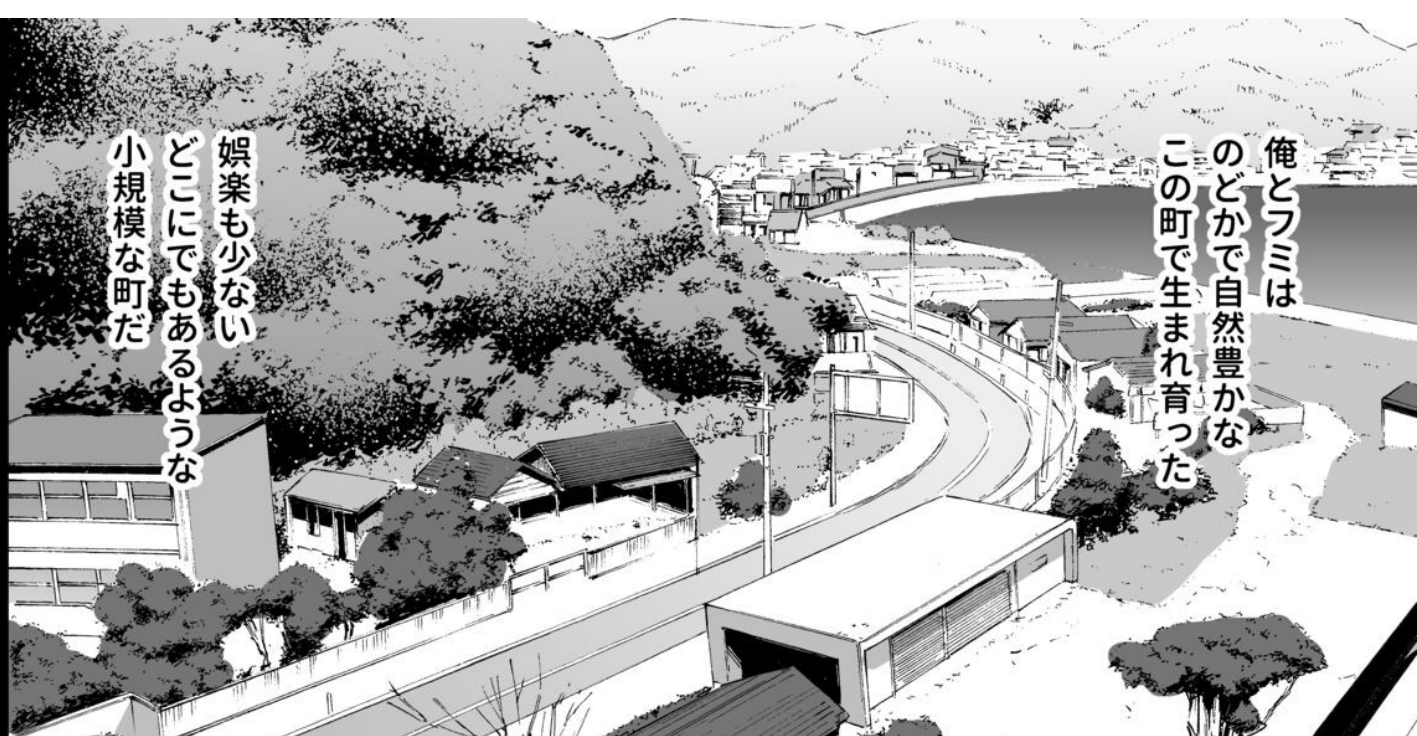
18歳未満の
購入・閲覧禁止



うーむ...







俺とフミは
のどかで自然豊かな
この町で生まれ育った

娯楽も少ない
どこにでもあるような
小規模な町だ



俺たち幼なじみは
性格や好みは
全然違うものの

子供の頃から
高校までいつも
一緒だった



親父の体調が
すぐれない事も
あったが

親しまれてきた
この店を
守りたかったのだ



高校を卒業後
俺は進学せず
実家で営む居酒屋を
継ぐことにした



フミは仕事帰りに
よく店に来てくれ
お互い、些細な世間話で
盛り上がった



成績優秀だったフミは、
都市部の大学へ進学し
卒業後、大手企業へ就職した



しかし、25年前…
祭事の「役目」として
「掟」をきっかけに

俺はフミに対し
過ちを犯して
しまったのだ



大人になってから
自覚したが…
おそらく子供の頃から
俺はフミに対して
恋愛感情を抱いていた



だが、俺はこの関係が
壊れる事を恐れ
想いを胸に秘めていた
このままでいいと
自分に言い聞かせながら



この祭りに限られた「風習」が今の俺たちに大きく関係している

伊勢神社

俺たちの町では毎年
年始の行事として
裸祭りが開催され



東京の本社へ異動となり
俺たちが会う機会も年に
数回となった...

その後、フミは
会社での成績を評価され



コタは去年
「年男」だったろ？

ああ、去年から
牛川のせがれが
相手だった

初めてな上に
荒すぎて終わった
後も大変だった

年始から災難
だったな...



フミ...



俺たちが
組むのもこれで
最後なんだな



お手柔らかに
頼むよ

それじゃ
後でな



祭りが終われば
「役目」も終わる…

今度こそ
伝えねえと



男衆は祭事前に
「水垢離」で体を清めるが
これがかなり辛い

祭りそのものは
他所とほとんど
変わらないだろう



その後はふんどし姿で
大しめ縄や供物を担いで
町内を練り歩き
無病息災を祈願する

やべっ……！
ふんどしが
透けてきた

土地の神へ五穀豊穡と
無病息災を祈願する



しかしこの町の
裸祭りが他所と
二線を画するのが

この後に行われる
祭事であるう



真夜中の零時

祭事は昔から
女人禁制とされ
関係者のみが
神社の拝殿に
集まり

「祭囃子」と呼ばれる
土地神へ対する最大の
催しが始まる

最後の祭囃子・序





男同士でまぐわう
というものだ

これこそが
土地神への
最大にして最高の
祈願らしい

祭事は古くより
代々、関係のある者へと
受け継がれてきた

「役目」を担う者は
必ず祭事の「掟」に
従わなければならない



しかし、その「掟」が
俺を長年に渡り
縛り続けている

俺たちのまぐわいも
12年ぶりにして
今回で3回目だ



長さじゃお前に
負けてるけどな

コタのちんぽ
相変わらず
ぶっといな

「破」へつづく

最後
の
祭
囃
子
。破



「祭囃子」になける掟

- 一、「祭囃子」は「役目」を担う者のみで行う
- 一、「役目」はその家系の跡継ぎが齡二十四から務める
- 一、「役目」は齡四十八まで全うする
- 一、「役目」の者が没するもしくは跡継ぎがない場合
同じ種族で別の家系の者がその「役目」を担うものとする
- 一、その年の干支にあたる「役目」の者が「年男」となる
- 一、産土神から授かる力を宿すのは「年男」一人のみである
- 一、「役目」を担う者同士の親密な間柄とまぐわいを禁ずる
- 一、「掟」を破ればその地に災いが起こる
- 一、「掟」を破った者はその地から去らなければならない
- 一、「祭囃子」は女人禁制とする



「年男」の子種には
土地神の力が
宿ると言われる

しかし、その力を
持てる者は一人
のみとされ



力は一一人に
留まると
その地に
災いが起こるとも
言われている



それじゃ
始めようか



久しぶりで
何だかすごい
興奮するな

そのため
毎年、千支にあたる
「年男」が
前の「年男」から

あ、ああ……

「子種」を引き継ぐ事が
この祭りの本質なのだ



それじゃ
こっちも…

そして、俺を
縛り続ける「掟」
それは…



「年男」同士が
祭り以外で恋仲に
なりまぐわう事を
禁ずるというもの

ちゅん
れろっ
れろっ

んっ♡

はー
ぬゅ
はー
はー

この「掟」こそが、
25年前に犯した過ちと
フミに自分の想いを
未だに伝えられずに
いる元凶なのだ



しゅん
しゅん







ああ...
12年ぶりにしゃぶる
フミのちんぽ...
すげーうまい

コタ...どうだ?
俺のちんぽの味は



お前ばっか
ずりーぞ



すまん
それじゃ
俺のも頼む



おう



あっ…
コタの舌

すごく
気持ちいいよ

しゃぶれば
しゃぶるほど
身体が熱くなる…



ぶるん

はぁ
はぁ



フミ…
横に転がれ

あ、ああ…



うう…
ケツ穴も疼いてきて
もう我慢できねえ！

ん

グググ



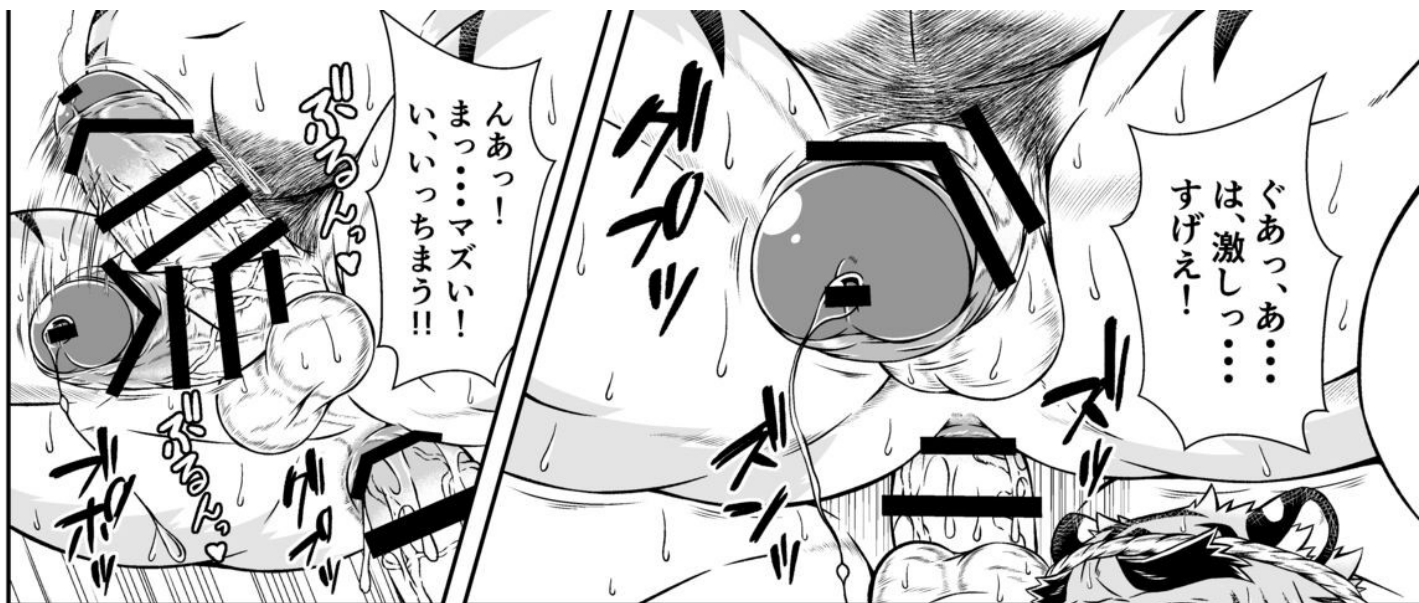
コタ…
だ、大丈夫か?

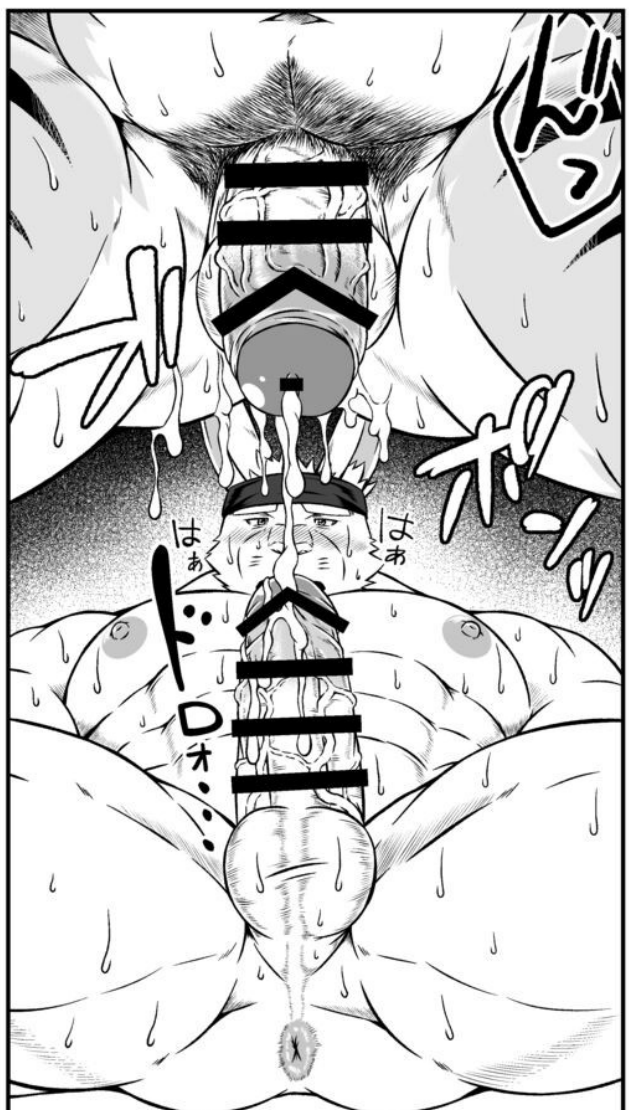




この
体勢なら...

ふ、フミッ！
ふ...深すぎ...
ひぐっ！







最後の祭囃子・急



登場人物



ひ むら こ た ろ う
日村 琥太郎

48歳 虎獣人

愛称 コタ。

糸目とがっしりした固太り体型が特徴。

実家の居酒屋「酒処 虎」を切り盛りしている。

仕事熱心だが、仕入れする酒の吟味や

料理の考案・味見が太る原因となり、加齢と

共に体型に影響してきている。

幼なじみの文兎に対しては、昔から片思いで

いるが口下手で奥手な性格から、想いを伝えられずにいる上、何かと自分と比較しがちで彼に

対して強いコンプレックスを抱えている。

日村家は長年、「祭囃子」において寅の「役目」を担っており、彼も祭事の「役目」と「掟」に従うが

その「掟」が原因となって、文兎に犯した昔の過ちをいまだに引きずっている。

性欲が人一倍強く、酒の空き瓶等太めの物を使

って自慰行為をする癖があり、その影響から穴が使い込まれたかのように、少し膨らみつつ

縦割れ気味になっている。



もちづき ふみ と
望月 文兎

47歳 兎獣人

愛称 フミ。

整った顔立ちと引き締まった身体が特徴的。

琥太郎の幼なじみかつ意中の相手。

誕生日が2月と早生まれなので、琥太郎とは高校まで同学年にあたる。

大学まで進学し、地元の都市部にある大手企業に就職したが、優秀な仕事ぶりを認められ、20代のうちに東京の本社に転勤する。

温厚で人懐っこい性格であり、子供の頃から成績優秀かつ誰からも好かれる人柄な為、

琥太郎からは度々、人たらしと言われる。

実家は大きな農家であり、琥太郎の店に出される料理の野菜は全て望月家から仕入れている。

望月家は長年、「祭囃子」において卯の「役目」を担っており、その為、東京に転勤してからも祭事の際には帰省し参加している。

しかし、本当の参加理由は別にあった…。

性欲は兎獣人の本能で割と強めである。



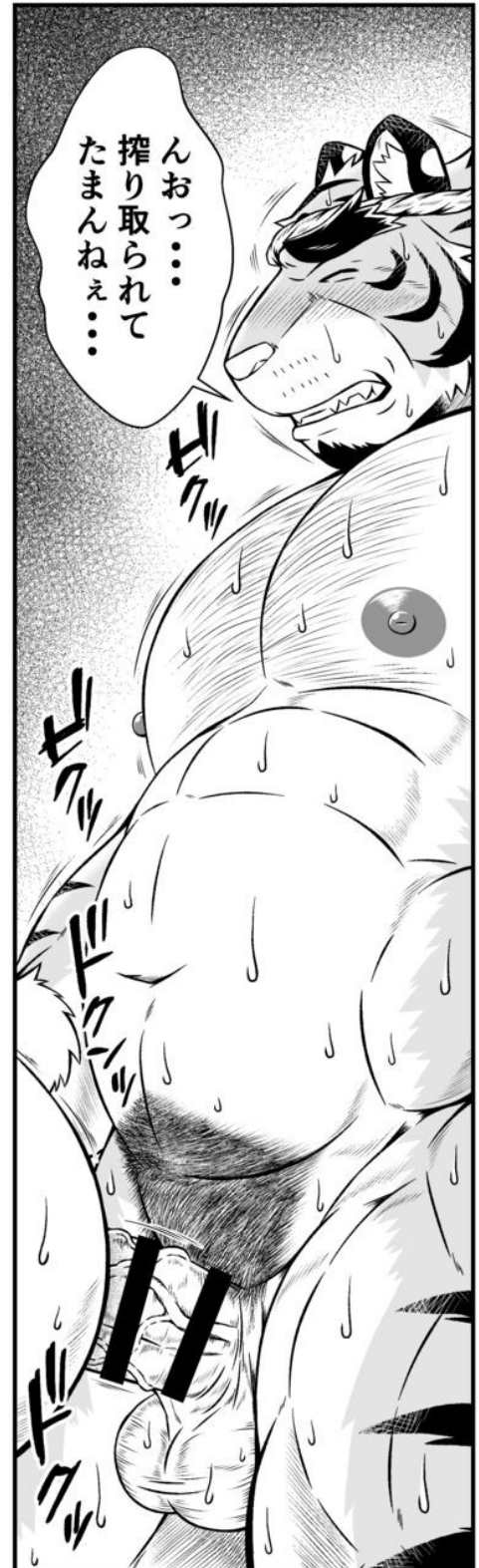


うっ、すげっ...
フミン中、熱くて
ウネって絡みつっ

うあつ、コタッ!
ま、待っ...太いっ
あっ...キツいっ!



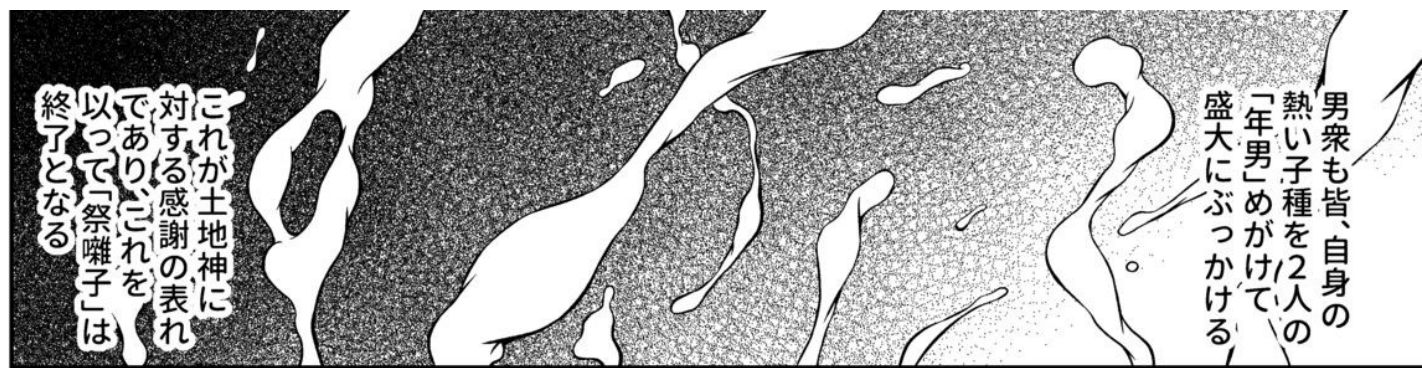












男衆も皆、自身の
熱い子種を2人の
「年男」めがけて
盛大にぶっかける

これが土地神に
対する感謝の表れ
であり、これを
以って「祭囃子」は
終了となる



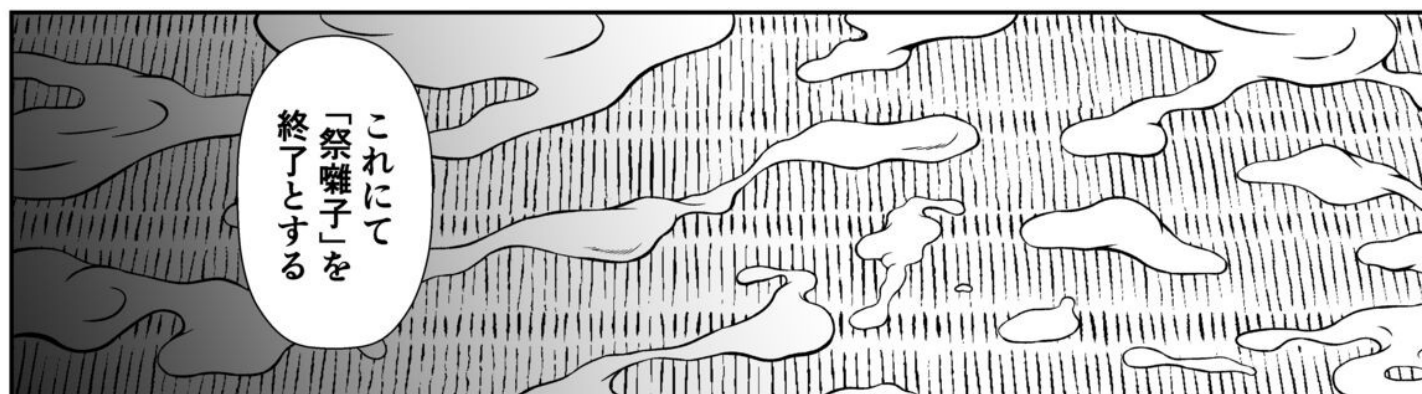
…もう
金玉の中
空っぽだ

俺も…

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡



これにて
「祭囃子」を
終了とする



牛川も次は
出来るように
なるさ

あいつら
風呂長すぎ
ないか？

お二人とも
すごすぎて勉強に
なりました

外も中もドロドロで
落とすのに時間
かかってるんだろ

「完結編」へつづく

最後力尽雜子

完結編



けもケット13用サークルカット



最後の「祭囃子」も
終わって「役目」と「掟」
からも解放された
けど、フミに
何も伝えずに俺は
ここで一体
何してんだ？

いや、本当は
わかっていたんだ
「祭囃子」を理由に
俺はフミから
拒絶されるかもしれない
現実から逃げていたんだ

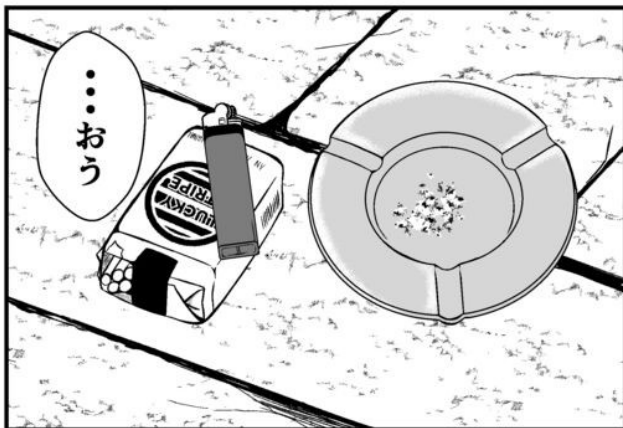
我ながらヘタレ
すぎて情けなくなる



ここに
いたのか



もう少しで
あいつはまた
東京に帰っちゃう
だったらせめて
あの日の事を
心から謝りたい…









そうか...

親父たちも
もう歳だし...

実家の農業も
継がないと
いけないからな



お前が帰れば
親父さんたちも
一安心だな



な、何だよ
急に...

俺、コタに
どうしても
言いたかった
事があるんだ

...ここまでが
建前の理由だ





フミっ！
俺…初めての
相手が牛川の
親父となんて
イヤだ…







